

## 平成28年度「中学生ふるさと民泊学習推進事業」実施報告書

岩国市立東中学校 第2学年(85名)

平成28年11月16日～11月18日 実施

### 1 活動のねらい

- 家族、学校という生活の場から離れ、民泊家庭や地域の人々との生活協働体験を通して、仲間と協力することや自己の役割を果たすことの大切さを身に付ける。
- 人との出会いやふれあいの大切さ、自然の大切さを知り、これからの生活に生かそうとする態度を養う。
- 民泊体験活動により、職業や社会に対する視野を広げる力を養う。

### 2 全体の指導計画 【主な活動地域名：周南市大道理地区】

|      | 期 間                         | 活動の内容  | 時数   |
|------|-----------------------------|--|--|
| 事前指導 | 7月下旬～                       | ○ ねらい、内容、班編制など   | 14   |
|      | 9月中旬～                       | ○ 職業講話、職場体験学習を生かした民泊に向けての意識付け  |  |
|      | 10月下旬～                      | ○ しゅうなんの里の特色   |  |
|      | 11月上旬～<br>前日                | ○ 平和学習・礼儀、マナー指導<br>○ ツルの生態・衣食住<br>○ 校歌練習・集団行動指導<br>○ 体験活動全般の最終確認<br>○ 遵守事項の確認                                  |  |
| 実施   | 11月16日(水)<br>～<br>11月18日(金) | ○ 八代地区ナベヅルに関する学習<br>○ 入村式・離村式<br>○ ふれあいの森なんでも工房体験活動<br>食事作り、森林観察、和紙漉き、<br>こんにゃく作り、豆腐作り体験など<br>○ 民泊家庭生活、農業、自然体験 | 15   |
|      | 事後指導                        | 11月下旬～<br>3学期立志式   | ○ 体験活動の振り返り・礼状作成<br>○ 発表に向けて、プレゼン指導、発表<br>○ 発表を終えて、振り返り<br>○ 立志式に向けて |

### 3 活動の展開

| 11月16日(水) |                              | 11月17日(木) |                                     | 11月18日(金) |                           |
|-----------|------------------------------|-----------|-------------------------------------|-----------|---------------------------|
| 8:00      | 東中学校出発式                      | 7:00      | 起床、朝食準備、朝食、<br>出発準備(民泊家庭)           | 7:00      | 起床、朝食準備、朝食、<br>出発準備(民泊家庭) |
| 10:00     | 鶴いこいの里交流センター<br>でのナベヅルに関する学習 | 9:00      | 民泊家庭から体験施設(ふれあいの森なんでも工房)へ移動         | 8:30      | 民泊家庭での体験活動③               |
| 12:30     | 昼食【持参弁当】・休憩                  | 9:30      | 体験学習開始(食事作り、森林観察、和紙漉き、こんにゃく、豆腐作り体験) | 11:30     | 昼食準備、昼食(民泊家庭)             |
| 14:00     | 移動                           | 15:00     | 体験学習終了                              | 14:00     | 離村式会場へ移動                  |
| 14:30     | 入村式会場到着                      | 15:30     | 民泊家庭へ移動                             | 14:30     | 離村式会場到着                   |
| 14:45     | 入村式・対面式                      | 16:00     | 民泊家庭での体験活動②                         | 15:00     | 離村式(お別れ式)                 |
| 15:15     | 民泊家庭へ移動                      | 16:00     | 民泊家庭での体験活動②                         | 15:30     | 出発(学校へ)                   |
| 16:00     | 民泊家庭での体験活動①                  | 18:00     | 夕食準備、夕食(民泊家庭)                       | 17:00     | 学校到着                      |
| 18:00     | 夕食準備、夕食(民泊家庭)                | 21:00     | 入浴、就寝                               |           | 解散式                       |
| 21:00     | 入浴、就寝                        |           |                                     |           |                           |

#### 4 実施上の留意点

- (1) 担任や各教科担当の教員に、様々な場面で本事業に向けた事前学習を実施するように依頼し、生徒の意識を高めていった。また、めざす生徒の姿について教員同士で意見交換し、共通理解した。
- (2) 評価方法について
  - ① 自己評価・相互評価  
振り返りについては、時間を十分に確保することで、充実した自己評価や相互評価ができるようにした。
  - ② 教師・保護者の評価  
振り返り活動において、子どもたちの活動を肯定的に受け入れ、一人ひとりを励ますことを意識するよう留意した。



【理科でツルの生態を学習】



【観察小屋で熱心に見ている生徒】

#### 5 活動の成果と課題

- (1) 生徒の変容（感想やアンケート結果から）
  - ① 自分たちでしなければならないことが多くあり、それらをやったことで、やればできるという自信がもてるようになった。
  - ② 生徒は、集合時刻や就寝時刻等を意識して行動し、集団生活での規律を守ろうと努力することができた。
  - ③ 豊かな自然、しゅうなんの里の人々との出会いを通して学校では経験できない感動体験をし、自然環境の大切さを改めて認識することができた。
  - ④ 農家の方が大切に育てた農産物を使った食事作りの手伝いを通して、好き嫌いをなるべくしないようにしようと心がけるようになった。豊かな自然を守ることと、その後の活動でもゴミを出さない、食事は残さず食べる等の意識が高まった。
  - ⑤ 民泊家庭での生活体験を通して、身の回りのことを自分ですることの大切さを実感するとともに、家族に感謝する気持ちをもつことができた。
  - ⑥ ツルの生態について理科で学習し、実際にナベヅルの家族を観察したり、資料館で確認したりすることができたことは、この時期でしかできないことであった。
- (2) 今後の改善の取組
  - ① 特定の生徒だけでなく、いろいろな生徒にリーダー経験をさせたり、ルールを考えさせたりすることで、一人ひとりに主体性を育てる。
  - ② 何か問題が起こった際にも、まず自分で考え解決できるよう、自発的な活動の指導を重視する。



【餅米の収穫体験】



【こんにゃく作り体験】



【集合写真】